

(株)東芝 マイクロエレクトロニクスセンター サイトレポート情報

所在地 : 神奈川県川崎市小向東芝町1番地
敷地面積 : 34,803m²、延床面積:90,389m²、緑化率13.5%(規制対象外)
設立 : 1958年4月、正規従業員:600人(2011年3月末現在)

所在地(半導体システム技術センター分室) : 神奈川県川崎市堀川町580番1号
延床面積 : 36,266m²、(テナントオフィスビル入居)
設立 : 1987年4月、正規従業員:1,500人(2011年3月末現在)

所在地(大船分室) : 神奈川県横浜市栄区笠間2丁目5番1号
延床面積 : 29,936m²、(テナントオフィスビル入居)
設立 : 1994年10月、正規従業員:1,000人(2011年3月末現在)

主要製品 : ディスクリット、システムLSI、メモリ半導体の技術開発

ISO14001認証取得 : 1997年3月
セミコンダクター社グループ統合認証取得 : 2007年8月、最新更新年月 : 2010年8月
ISO14001認証番号 : EC98J2014



半導体システム
技術センター分室

大船分室

ごあいさつ

マイクロエレクトロニクスセンターは、先端技術産業都市川崎の東部に位置し、国道1号線沿いの住宅地に囲まれた小向地区と、川崎駅に近接した半導体システム技術センター分室、および、大船駅に近接した芝浦メカトロニクス株式会社構内の大船分室から成る都市部に立地した東芝半導体の開発拠点です。事業活動にあたっては、周辺地域社会との協調連携を図りながら、環境負荷の低減活動に取り組むとともに、製品の低消費電力化や小型化による省エネルギーや資源の有効利用など環境配慮型製品の創出を通じて社会に貢献しています。



環境保全責任者
大戸 秀起

2010年度の環境の主な取り組み

☆ISO14001環境マネジメントシステム

1997年3月に認証取得、2007年8月に東芝セミコンダクター社グループで統合認証取得
2010年8月に更新審査受審

☆地球温暖化防止の推進 : 施策実施によるエネルギー起源CO₂排出量削減

目標(削減量) : 992[トン-CO₂]以上/年 実績 : 1,056[トン-CO₂] /年 達成率106%
⇒CO₂排出量は2009年度比1.1%削減の31,355[トン-CO₂]

☆資源の有効利用推進 : 廃棄物(有価物を含む総排出量)の削減

目標(総排出量) : 485トン 以下/年 実績 : 465.9トン/年 達成率104%

☆化学物質排出量の抑制 : 適正使用量の監視と検証、指定有害化学物質の排出量を削減

目標(総排出量) : 484.4kg 以下/年 実績 : 458.3kg/年 達成率106%

☆横浜市分別優良(三つ星)事業所認定(大船分室) : 7月認定審査受審、11月認定証受領

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

ディスクリット半導体、システムLSI、メモリ半導体等の東芝半導体製品全般の設計・開発の機能を担っており、環境に配慮したプロセス技術、システム技術、応用技術などの開発を行っています。



SSD (Solid State Drive) は、HDDのようなモータやディスクといった可動機構がありません。メカニカルな部分がないため、衝撃に強く、静かでデータの消去・書き込みが早い特性を持ち、省電力化を実現したストレージデバイスです。

環境コミュニケーションの紹介

☆環境報告書の発行 : 2004年度より毎年発行し、「環境報告書2010」8月発行で累計7版発行

☆地域との交流

地域6町内会住民と行政を招待して環境活動及び事業活動の説明会を10/18に開催(東芝3事業場共催)
清掃活動 : 多摩川クリーンキャンペーン、川崎駅周辺クリーンキャンペーン、大船分室周辺クリーンキャンペーン及び、川崎市統一美化運動に呼応した事業場周辺一斉清掃等を実施
各種行事参画 : 環境月間、ライトダウンキャンペーン、3R推進月間、省エネ月間等

環境方針

(株) 東芝 セミコンダクター社
マイクロエレクトロニクスセンター 環境方針

－ 理念 －

マイクロエレクトロニクスセンターは、東芝グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

－ 方針 －

マイクロエレクトロニクスセンターは、東芝 セミコンダクター社グループの環境方針に基づき、環境への取組みを経営の最重要課題の一つと位置づけ、事業活動における環境負荷の低減活動を推進するとともに、日々の暮らしや様々な産業分野に欠かすことのできない半導体の設計・開発の拠点として、環境配慮型製品やプロセス技術等の研究開発を推進することで社会に貢献します。

当事業場は、研究開発都市川崎の東部に位置し、多摩川に近接した周辺を住宅地に囲まれた小向地区と、川崎駅に近接した半導体システム技術センター分室、及び横浜市栄区の大船分室を含め、都市に立地する事業場として周辺地域社会との協調連帯を図ります。

1. 倫理観（コンプライアンス）と継続性（サステナビリティ）

- (1) 環境に関する法令、同意した協定、業界指針及び自主基準など当事業場の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守します。
- (2) 環境活動レベルの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行ない、効果的な運用を推進します。

2. 実行（エクゼキューション）

事業活動における全ての環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、積極的な環境施策を展開します。

- (1) 動力、空調、設計・開発・評価用設備、並びに執務室・実験室、共用スペース等のエネルギー消費量削減施策の実施により地球温暖化防止を推進します。
- (2) 廃棄物総排出量削減などの3R活動、及び水資源の受け入れ量削減施策等により、資源の有効利用を推進します。
- (3) 生物多様性の保全を行うために、事業活動が生物多様性に及ぼすかわりを把握し、生物多様性に及ぼす影響の低減を図り、また、社会貢献活動を推進します。
- (4) 有益な環境側面の積極展開を推進し、社会の環境負荷低減に取組みます。
- (5) 良き企業市民として、従業員の環境意識向上及び地域社会との協調連帯を図ります。

この環境方針は、社内外に開示するとともに本組織で働く全ての人々に周知し、方針に沿った事業活動を推進します。

2011年 4月 1日

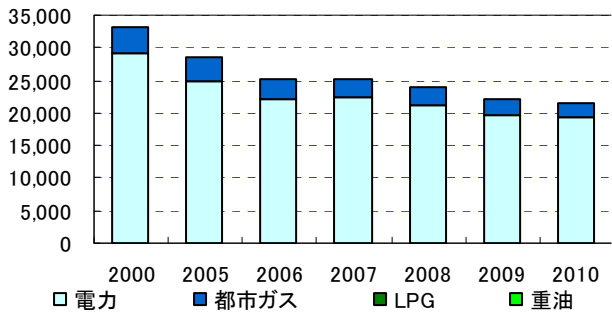
株式会社東芝 セミコンダクター社
マイクロエレクトロニクスセンター

所長

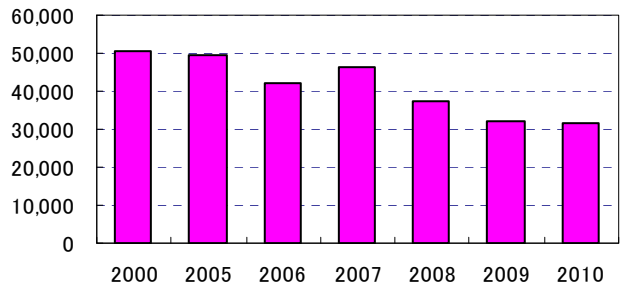


環境負荷データ

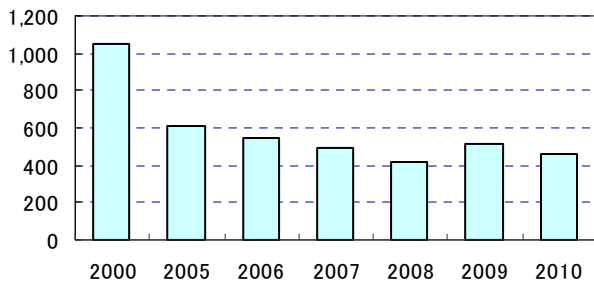
エネルギー使用量(単位:kL)



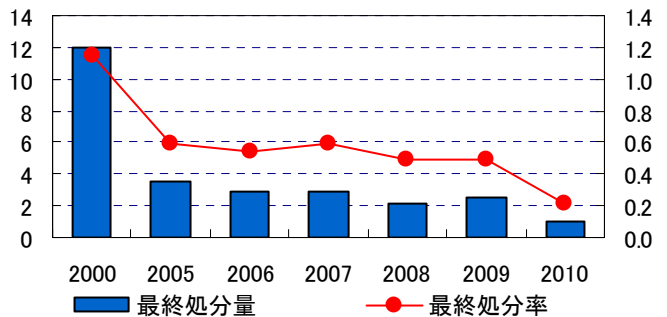
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

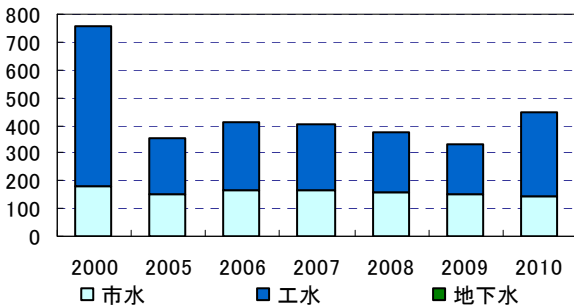


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

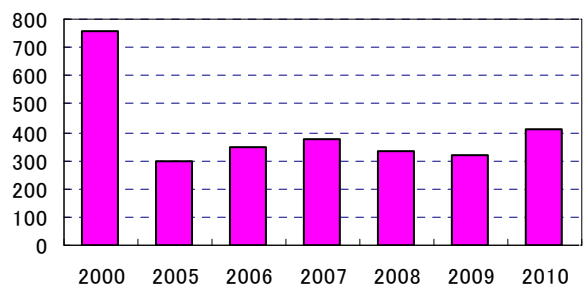


主な廃棄物名:紙、プラスチック、金属、汚泥等

水の使用量(単位:千m³)

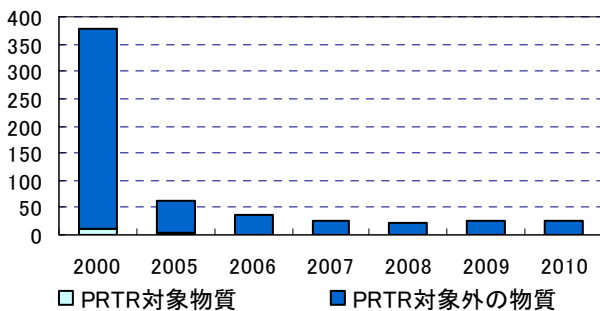


排水量(単位:千m³)

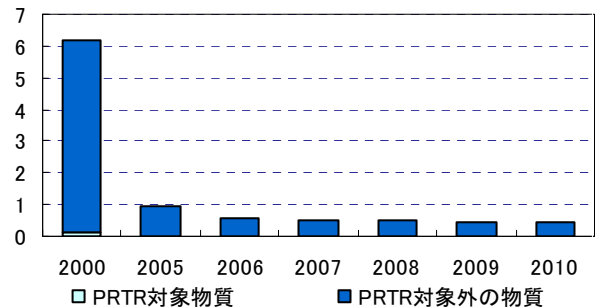


* 工水の使用量・排水量に関し、集計方法を変更(2010/4~)

化学物質削減対象物質の取扱量推移(トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移(トン)



主な化学物質:硫酸、塩酸、酢酸エチル、弗酸等

遵法管理状況

<大気測定結果> 小型貫流ボイラー(都市ガス使用) 4台

実測値は最大値を標記

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(mg/1000kJ/日)	63	51	13.7/11.1/13.7/16.3	2回/年
SOx(mg/1000kJ/日)	80	<1	<1	2回/年
NOx排出総量(kg/年)	6,080	4,864	795	計算値
PM排出総量(kg/年)	965	720	95	計算値

<排水測定結果> 排水処理施設等、川崎市公共下水道へ放流、最終放流口(小向地区)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	6.2~8.5	6.8~7.6	1回/月
BOD(mg/L)	600	100	82	1回/月
SS(mg/L)	600	40	24	4回/年
窒素(mg/L)	240	50	7	1回/月
燐(mg/L)	32	3	0.8	1回/月
フッ素(mg/L)	15	13	3.2	1回/月

<騒音・振動測定結果> 特定施設 騒音:送風機、振動:空気圧縮機、敷地境界線3箇所(小向地区)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB[A])	敷地境界:昼	70	60	52/55/54	2回/年
	敷地境界:夜	55	53	49/50/50	2回/年
振動(dB)	敷地境界:昼	70	45	<30/<30/36	2回/年
	敷地境界:夜	60	40	<30/<30/35	2回/年

<その他測定結果>

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	—	—	—
BOD(mg/L)	対象外	—	—	—
SS(mg/L)	対象外	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし